

京都市



しんぶん NO.53

発行：京都市 PTA 連絡協議会・京都市教育委員会
お問合せ先：京都市 PTA 連絡協議会事務局
TEL：075-801-4796
市P連ホームページ：<http://www.kyoto-pta.jp/>
メールアドレス：kyoto-pta@edu.city.kyoto.jp

P.1	●小P連はぐくみ委員会・中P連親まなび委員会合同学習会 ●「心のきずな61キャンペーン」ご協力の御礼
P.2-3	●私立中学校高等学校連合会と京都市立中学校PTA連絡協議会との懇談会 ●高P連として参加した研究大会と、市高P連の人権研修会に関する報告 ●16園訪問～目からウロコの京都市立幼稚園探訪ツアー～ ●「明日をひろげる福祉機器展2012」開催！ ●大合同作品展「小さな巨匠展」 ●京都市・乙訓地域公立高校の新たな教育制度(案)について
P.4	●小P連 全市役員交流会「花背山の家」 ●近畿ブロックPTA表彰 ●京都市少年合唱団 体験入団 ●京都市生涯学習市民フォーラムのお知らせ ●京都市PTA連絡協議会研修会



親と子のこころの電話

☎ 075 (801) 1177

(だれでもお気軽にお電話ください。秘密は堅く守られます)
相談時間▶10:00~16:30
※火曜(祝日の場合は翌日も)日曜、祝日、年末年始は休み

小P連はぐくみ委員会・中P連親まなび委員会合同学習会

思春期の『甘え・反抗』と どう向き合おうか？

—『第2の誕生の時』って、どんな時？—

講師 高垣 忠一郎氏 (立命館大学大学院教授)

平成24年10月2日、京都アスニーにて、「小P連はぐくみ委員会・中P連親まなび委員会合同学習会」が行われました。

今回は保護者が最も関心のある「思春期の子どもの『甘え・反抗』とどう向き合おうか？」をテーマに立命館大学大学院教授で、長年臨床心理士として病院で思春期の問題を中心にカウンセリングをされている高垣忠一郎先生に御講演頂きました。

子どもが自己中心的な考えから脱皮し、他を思いやる心を形成出来るように手助けをしていく事が、親として必要不可欠です。また、その成長の過程で起きる様々な身体の変化、心の変化、それと葛藤し揺れる時期がまさに思春期の時であり、第2の誕生であることを知りました。そして、この思春期は親も子も生みの苦しみの時であると言っ



講演される高垣 忠一郎氏



マイクを向け参加者の気持ちを引き出す高垣氏

事、その甘えや反抗を温かく受け止めることが必要で大切であるという事を改めて学ぶことができました。

高垣先生はユニークな講演方式で、まず「大人の定義とは？」と、参加者にマイクを向けながら、ご自身の体験や愉快なエピソードなどを交え、聴く側の心を揺さぶりながら一人一人の答えを探り導き出す、高垣ワールド満載の御講演でした。

終わった後の会場の和んだ雰囲気や参加者のこぼれんばかりの笑顔を見て、改めて今回の学習会の意義を受け止め、喜びを感じさせて頂けた素晴らしいひとときとなりました。

「心のきずな61キャンペーン」に たくさんの募金 ありがとうございました

東日本大震災支援活動「心のきずな61キャンペーン」にご協力ありがとうございました。

多くの方々にご賛同をいただき、平成24年10月末現在で、京都市の各校園PTAから計4,858,785円の心こもった支援金が寄せられ、日本PTA全国協議会に送金をしました。

この活動は震災により、孤児、遺児となった子どもたちのために、平成28年まで継続されます。京都市PTA連絡協議会でも、引き続き募金活動の協力を行いますので、よろしくお願ひします。



※募金は随時受け付けますので、京都市PTA連絡協議会事務局(TEL:801-4796)までご連絡ください。

ここで、いくつかアンケートの感想をご紹介します！

中学生の子(女の子2人)がいますが、時々甘えてくる事に対して「大きくなって気持ち悪い〜〜！」と冗談ぽく突き放してましたが、今まで傷つけていた事もあったのかなと反省です。

思春期の子どもに間を持つ事、社会に出るために甘える充電が必要と言う事がわかり、本当に良かったです。

3男1女4人の子を持つ母です。我が子の三男が、反抗期にさしかかりましてずいぶん落ち着きましたが「ババア!!」「だまれ、くそガキ」のバトルを繰り返して、笑って、ケンカして…。

日々大変ですが、「生きている!!」と実感しながら、子育てを楽しんでいます。

今日は、タイムリーなテーマでとても興味深く、考えさせられる内容でした。今日も、ババアはがんばります!!

ねむたいと思わなかったのは、初めて!? かもしれません。とてもわかりやすく楽しく聞けました。「甘え・反抗」家でもあります。「ムツ」と思う事がありますが「ガマン」し、甘えてくけども、それも、ギュッと抱きしめてあげようと思いました。

「しんどいことは話さない」に心が痛んだ。今しかないこの時期を大切にしたい。

思春期を迎える子ども達の予習が出来た。不安もあるが、お話を聞いてそのときを迎えるのがちょっと楽しみになりました。

反抗中であっても子どもの甘えを受け止めるということを忘れないで、心にとめておきます。

第2の誕生の時は、第2の陣痛という言葉にぴったりで、心にしみた。

大人って何? 良い大人になるって? の問いに答えられない自分。大人の定義も分からず、子どもを育てようとしていたことに気付いた。

親が決めたルールに乗せるのではなく、自分の頭で考えさせ、選んだり迷ったり、悩むことが大事なんだとわかりました。家でも何か自分で責任もってやらせたい。





第62回 全国高等学校 PTA和歌山大会参加 (和歌山ビッグホール)

8月22日 大会運営会議
23日 開会式と基調講演
24日 分科会
8月22日～24日の3日間、和歌山県で全国高等学校PTA和歌山大会が開催されました。

8月22日 大会運営会議
23日 開会式と基調講演
24日 分科会

基調講演では、宇宙科学研究所 宇宙飛行工学研究系 教授 川口淳一郎氏の「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙旅行、その7年間の歩み」と題して「エンジンの故障からはやぶさ本体が行方不明になった事やイオンというエンジンに頼って地球へ帰還を成し遂げた事」などを話されました。

告知

第39回 近畿地区高等学校 PTA京都大会

平成25年 6/28・29 (金) (土)

場所 国立京都国際会館 他

高P連 だより

来年はいよいよ京都開催! 近畿から約3000名の高校PTA会員が集結!

第38回 近畿地区高等学校 PTA兵庫大会参加 (神戸国際展示場)

6月30日 総会
7月 1日 大会行事・記念講演



第2分科会で発表された 團野泰行氏

午前の大会行事では、広報誌コンクルールの表彰式が行われ、堀川高校が奨励賞を受賞されました。引き続き「夢みる力を育てる」という演題で、イラストレーター・絵本作家の永田萌氏による記念講演が行われました。

市高P人権研修会実施 (10月20日西京高校)

10月20日 講演・見学

障害者就労支援センター「ほっとはあと」店長の塩るいじ氏を講師に迎え実施しました。この施設は、西京高校の東隣にあり、障害のある人の就労機会提供、社会参加促進を目的にNPO法人京都ほっとはあとセンターが設置する喫茶店で、研修会では、施設概要や13名の従業員(利用者)の様子、自立と社会参加に向けた工夫についてお聞きするとともに、終了後は、施設見学をして交流を深めました。

中P連 だより

私立中学校高等学校連合会と 京都市立中学校PTA連絡協議会との懇談会

10月23日に私学会館において、私学連合会との懇談会が開かれ、中P連からは16名、私学連合からは12名出席しました。その中で、4つの項目に分けて話し合いが行われましたので、以下にご紹介いたします。

Q 「私立高等学校の特徴」について

創始者の健全理念を中心として各校は生まれており、その特徴が現れている。例として次のことが挙げられる。

- 文武両道の学校を目指している。
「考える力」「自主自律」「決断力」が身に付けられるよう禅の考え方で教育をしている。
世界に通用する人材の育成を目指している。
国際主義、自由主義を大切にしている。

Q 「卒業後の進路」について

- 各学校それぞれの特色があり、卒業後の在り方を大切にしている。
ほとんどが大学進学を目指している。
男性社会の中で、女性の自立を指している。
高校教育はあくまでも種をまく作業をしていて、刈り取るのは本人であると考えている。

Q 「スポーツ推薦で入った子どもが怪我などによってクラブ活動ができなくなった場合のケア」について

個々によって対応は異なるが、たとえ部活動がだめでも、別の部活に変わるなど相談できるようにしている。

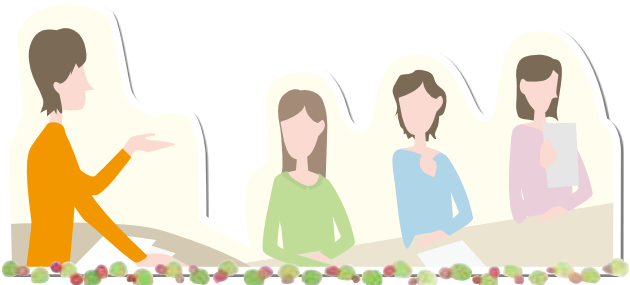
Q 「高校に入学してから学習について行けなくなったり、人間関係がうまくいかず不登校になった生徒の支援」について

保護者の強い要望によって「サポートセンター」のようなものをつくった。

- 受け入れた限り卒業させたいと思っている。単位取得のためには、休み中の補習などを通じて努力はしている。ある学校で不調をきたした場合、別の学校で預かるなど、私学全体で考えていくという考え方もある。

Q 「中学校で欠席日数が多かった生徒の受入」について

本校は内申点は評価せず、本番の試験で可否を判定している。そのため、多数の不登校経験者が入学したことがあった。全員がうまくいったとは言えないが、居場所を見つけてくれた生徒もいる。



私立の学校には「できること」「できないこと」がありませんが、だからといって諦めるのではなく、智慧を出し合い、他の学校や地域ぐるみで取り組むことで解決できることもあると思います。今回の話し合いは、「PTAとして何ができるのか」を改めて考えさせられる懇談会となりました。

障害にかかわる 子どもの教育 電話相談

子どもの発達にかかわる教育・支援の方法、就学に関する相談について、長年障害のある子どもの教育に携わった経験豊富な相談員が応じます。

相談電話 ☎254-1155

平日:10時~12時 / 13時~17時
※水・土・日曜日、祝日、年末年始を除く

対象 京都市内在住の 就学前~高校生の子どもと保護者

第31回 中P連研究集会

日時 平成24年11月28日(水) 午後2時~4時50分

場所 京都アスニー4Fホール

- ① 教育懇談会の報告
・私学連合との懇談
・京都市教育委員会との懇談

② 講演会

『夢をあきらめない』

講師 石黒 由美子氏 (北京オリンピック シンクロアイスミニア日本代表)

KYOTO 2013 MARATHON

3月10日(日) 京都マラソン開催

大会当日はノーマイカーデー

京都マラソン(平成25年3月10日(日)実施)はランナーはもちろんのこと、その家族や友人など、国内外から多くの来訪者が見込まれる一大イベントです。ノーマイカーデーにご協力をお願いします。



「明日をひろげる 福祉機器展2012」開催!

10月20日に北総合支援学校を会場に、第15回目の福祉機器展を開催しました。

福祉機器展では、児童生徒向けの福祉機器から地域の高齢者の方に、生活に役立つ便利で優れた福祉機器などを紹介しています。車いすやコミュニケーション機器、日常生活用具、視覚聴覚支援機器、介護食、福祉車両、福祉施設の物品販売など、今年は42社の企業・事業所に出品いただきました。また「支援ツールとしてのiPadなどの活用について」学齢期に利用できる制度についてのセミナーも大変好評でした。

お天気にも恵まれたこともあり、会場は一日中大盛況で福祉機器展最多の約800名の参加がありました。後援いただきました成逸住民福祉協議会ははじめ、たくさんの方々のご協力、本当にありがとうございました。

総P連会長 清野嘉奈子

好評だったセミナーの様子



物品販売の様子



オープニングを飾った北総合高等部生徒による和太鼓演奏

平成24年度 第55回 全国肢体不自由 特別支援学校 PTA連合会 「長野大会」開催!



8月19日～21日の三日間、第55回全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会およびPTA・校長会合同研究大会「長野大会」が、長野県・メルパルク長野で開催されました。

「全国肢体不自由特別支援学校PTA相互の協力を図り、特別支援教育の諸課題等の実践研究を進めると共に、誰もが自分らしく共に生きる社会づくりへPTA活動は、どうあるべきか」を趣旨に、1日目は役員会・総会、2日目は開会式・基調講演・分科会(学校・地域・福祉・労働・医療・機器)・懇親会、3日目は研修会・全体講評・閉会式の日程で行われました。

特別支援教育に関する国の動向・各地での現状や取組等、多くを学ぶことができ、また、全国から来られた参加者と、意見交換や楽しい交流ができて、とても有意義な大会でした。

16園訪問 幼P連 だより 目からウロコの 京都市立幼稚園探訪ツアー

6/24～7/9まで、幼P連の役委員が手分けして、1日2園を視察、意見交換して回りました。幼稚園の全PTAが互いに交流を持ち、良い影響を与え合うこの行事は毎年恒例ですが、京都市ならではのものと自負しています。今年も様々な情報をGet! 自園の運営に活かしていきたいと思ひます。

京 極

園児、先生、保護者お揃いTシャツがGood!

明 徳

比叡山!空!風!平屋の教室から園庭へのつながり感もステキ♡

伏見南浜

音楽、ウォーキング、手芸に味噌づくり...保護者の楽しいサークルがいっぱい!

上賀茂

住宅地でも広～い園庭に自然がいっぱい。みんなのびのび～♪

竹 田

バザーとリサイクルでエコ活動一等賞!卒園してもみんなで協力。

開 智

街のど真ん中でも緑いっぱい月自治会の支援で3年保育も実現!

伏見住吉

一大イベント『とれとれまつり!』!保護者の愛、アライズレス!

翔 鸞

地域の方がお客様。6月の花苗屋さんは大イベント!

乾 隆

少人数ならではの団結力!屋上からは大文字が。

待 賢

週一回、皆で同じランチをいただきます♪楽しくて苦手な物もバグッ!

西 院

保護者のボランティアで預かり保育がより充実!!

中京もえぎ

綺麗な園舎とバワフル保護者に万歳!

楊 梅

PTA 掲示板で役員の予定もみんなで確認♪

伏見板橋

サークル『サンサンママ』劇やミュージックベルはおてのもの。

深 草

畳スペースにかわいいテーブル。未就園児室はやさしいっぱい!

みつば

週一回、園の農園の旬野菜味噌汁が栄養満点。

第35回 京都市 小・中学校育成学級 総合支援学校 大合同作品展 「小さな巨匠展」

日時 平成25年1月24日(木)～1月27日(日) 9:00～17:00

会場 京都市美術館 別館 (京都市左京区岡崎最勝寺町13地)

主催 京都市小学校長会総合育成支援委員会、京都市立中学校長会総合育成支援委員会、京都市立総合支援学校長会、京都市教育委員会

問合せ 京都市教育委員会総合育成支援課 TEL: 352-2285 FAX: 352-2305

内容
京都市小・中学校育成学級、総合支援学校児童・生徒が製作した絵画、工芸、書道等の作品約3000点を一堂に集め、学習成果の発表の一環として展示します。これらの作品づくりを通して、子どもたちの豊かな心を育てるとともに、市民の皆様には、作品鑑賞を通して障害のある子どもの教育についての理解を深めていただき、この作品展が「すべての人が共に支えあって生きる社会」づくりの一助となることを願って開催します。

京都市・乙訓地域公立高校の新たな教育制度(案)について ご意見を募集中!

京都府・京都市教育委員会で策定しました、京都市・乙訓地域公立高校の新たな教育制度(案)について、市民のみみなさまのご意見を募集しています。

ご意見の募集期間 平成24年11月9日(金)から平成24年11月30日(金) (郵送の場合は当日消印有効)

問合せ先 京都市教育委員会指導部学校指導課 (TEL: 222-3811)

※意見募集用紙は、市役所、各区役所・支所、図書館等で配布しております。

待ちに待った小P連 全市役員交流会

花背山の家



10月26日にとっても
良いお天気の中、各校長・
役員計71名の参加の下、
実施されました。

薪で炊いた
カレーライス
最高の味でした

違う学校の方々と様々な
議題で盛り上がった
ワークショップ

それぞれのグループで
熱い議論が
交わされました

PTA新聞でいつも拝見している
方々と一緒にカレーを作ったり、
ディスカッションしたりして、
とても充実した楽しい企画でした。

朱雀第一小 PTA 副会長 渡辺 訓子さん

毎年恒例の交流会では、支部の枠を越え
てたくさんのお出合いがありました。
みなさんのキラキラした笑顔にたくさん
の幸せを頂きました。

広報部会担当 齋 三佳
下京・東山支部 月輪小学校 PTA 会長

このような楽しいイベントのおかげで他校
の方々と出合い、素敵なお出合いを過ご
したり、意見交換が出来て良かったです。
もっとたくさんこんな場があると嬉しい
です。

櫻原小 PTA 会計 小原 由紀さん

京都市少年合唱団 第53回 修了演奏会の開催

京都市少年合唱団は、この1年間の集大成、そして、入団以来様々な活動を続けてきた中学3年生を送り出す演奏会として、標記演奏会を下記のとおりに開催します。

入場
無料

日時	平成25年1月5日(土) 開場13:15 開演14:00 終演予定16:30
会場	京都コンサートホール 大ホール
演奏曲目	ボロディン 作曲 歌劇「イーゴリ公」より「ダツタン人の踊り」 ヨハン・シュトラウスII 作曲 「皇帝円舞曲」他
入場方法	当日先着順・入場料無料(但し、未就学児は入場不可)
託児室	幼児の託児室を設けます。(1人:1,000円、要予約、定員あり、先着順) <対象年齢> 満1歳以上就学前まで <申込期限> 平成24年12月19日(水) <申込先> 京都市教育委員会 生徒指導課 (TEL 075-213-5622)

問合せ 京都市教育委員会 生徒指導課(TEL 213-5622)

日本近畿 ブロック 表彰受賞 (京都市関係分)

8月25日、日本PTA全国研究大会京都大会の全体会が終了したあと、第38回(社)日本PTA近畿ブロック研究大会京都大会が開催され、表彰式が行われました。受賞については以下のとおりです。おめでとうございます。

【個人の部】

- 金澤 一晃(桂小)
- 鈴川 慈子(御室小)
- 廣澤 好信(藤城小)
- 深田 敦子(洛中小)
- 麻植 誠司(上京中)
- 阿部 勝(加茂川中)
- 上田 清(蜂ヶ岡中)
- 野坂 公美(伏見中)



長屋博久近P会長から表彰を受ける各府県市の代表者

【団体の部】

- 常盤野小学校PTA
- 伏見中学校PTA

京都市生涯学習市民フォーラム シンポジウム おもてなしの心を世界に ~観光都市・京都の魅力再発見!~

参加無料
[定員700名]

市内188の生涯学習関係団体が加盟するネットワーク組織「京都市生涯学習市民フォーラム」の堀場雅夫会長(株)堀場製作所最高顧問が、大谷大学教授・哲学者の鷲田清一氏、「そうだ 京都、行こう。」などのコピーライター・太田恵美氏を迎え、門川大作京都市長と共に、「おもてなしの心」で世界中にファンを持つ京都ならではの「ほんまもん」のまちづくりについて語り合います。

- 日時 平成24年12月7日(金)
午後2時~4時(午後1時30分開場) ※2時から30分間は同フォーラム総会を開催
- 会場 京都産業会館8階 シルクホール(下京区四條通室町角)
- 申込み問合せ先 京都いつでもコール 電話661-3755(年中無休 朝8時~夜9時)
- 担当 京都市教育委員会 生涯学習推進担当

京都市生涯学習市民フォーラム 検索

京都市PTA連絡協議会

研 修 会

第1回人づくり連続講座

日時 平成25年1月24日(木)
18:00~20:00

会場 KBS京都放送会館
KBSホール
(地下鉄丸太町・今出川駅徒歩8分)

子どもの命と健やかな育ちを守るため、「いじめ」には毅然として対応し、地域を含む社会全体で子どもたちを育てることが求められています。教育評論家の尾木直樹氏を講師に迎え、学校・家庭・地域の役割を今一度考えることを目的に、「いじめ」に焦点を当てた研修会を下記のとおりに実施します!

- 18時~ <講演>
講師 教育評論家 尾木直樹氏
- 19時~ <パネルディスカッション>

詳細に関しては近日中に学校へ案内文を送付しますので、そちらをご覧ください。

問い合わせ 市P連事務局 TEL 801-4796